

発寒ひかり
保育園だより

2021年
7月号

巻頭言

7月から園長という大任を拝しました。初代井上猛園長・井上ノリ副園長の時代に新卒で発寒ひかり保育園に就職し、その後、吉田行男園長の下、保育に当たり、平成25年より主任を務めさせていただきました。

この大役に責任の重さを感じると共に、身の引き締まる思いです。素晴らしく、また責任の重い「保育」の仕事は園長1人で出来るものではないと思っております。職員、そして保護者の皆様と共に、これからの未来を担う子どもたち一人ひとりととって、この「発寒ひかり保育園」で過ごす日々がかけがえのないものとなるよう、謙虚に職務に励んでまいります。

当園の保育理念の1つに「子ども・家庭・地域と共に生き、共に育ち合います」の文言があります。私自身、子どもたちと向き合う中で、気付かせてもらったたり、学んだりすること、保護者の方から教えていただくことも多いと感じています。また、保護者の皆さまの支えの上に保育の仕事が成り立っていることも痛感しています。長引くコロナ禍で、保護者の皆さまと触れ合う機会が減ってしまっており、とても心苦しく思います。どんな小さな事でもかまいません、是非、お声を掛けていただければと思います。直接、お話しややりとりをすることが、理解を深める一番の近道だと思っております。

これからも、子どもたちが充実した時間を保育園で過ごし、保護者の皆さまが安心して預けられる園になることが出来るよう、職員一同、心を合わせていきたいと思っております。

園長 阿部 尚子